



# SADECO JOURNAL

no. 33

社団法人埼玉デザイン協議会  
サデコジャーナル 2007 & 2008

[www.sadco1.com](http://www.sadco1.com)

2007 年度 6 月総会、2 月総会

2008 年度 6 月総会、2 月総会

スクール委員会レポート

[第 21、22 回サデコスクール、親子で作る楽器教室]

福祉委員会レポート

第 1 回授産活動活性化セミナー

「授産施設 商品開発デザイン相談会」

授産施設「グリーンフィンガーズ」製品支援

情報交流委員会レポート

第 1 回地域交流会と会員親睦会 [秋の秩父路バスツアー]

(社)かながわデザイン機構 (KDF) との交流会を開催!

魅惑の川越探訪!

かながわデザイン機構 (KDF) との第 2 弾

事務局レポート

事務局 SKIPCITY へ移転

2009 年度、2010 年度新役員

事務局から

地区会レポート



## 2007 年度 6 月総会、2 月総会

2007 年度 6 月総会 2007 年 6 月 30 日開催  
 「2006 年度事業概要報告 / 収支決算報告・監査報告」の審議  
 会場：大宮ソニックシティー 708 号室  
 議長：山岡和彦、司会：田端克雄

● 第 1 号議案

2006 年度事業概要案の報告  
 ・総会 / 理事会活動報告：田中仁一郎  
 ・実施事業の概要報告：千田正勝  
 ・委員会 / 地区会活動報告：葛谷裕美

● 第 2 号議案

2006 年度収支決算案の報告：長野繁敏 ・当期（決算）収入合計 / ¥5,105,998 ・当期（決算）支出合計 / ¥4,764,482  
 監査報告：竹田壮一郎

● 第 3 号議案

社員移動状況の報告：長野繁敏 正社員数 / 76 名 賛助会員数 / 6 機関それぞれ報告し、議場に承認を求めたところ、全会一致で承認された。 ・総会終了後、「SS31」店舗視察を終え散会した。

2007 年度 2 月総会 2008 年度 2 月 23 日開催  
 「2008 年度事業計画 / 収支予算計画」の審議  
 会場：埼玉県立近代美術館 講堂  
 議長：染谷珠樹、司会：田端克雄

● 第 1 号議案

2008 年度事業計画案の報告：千田正勝

● 第 2 号議案

2008 年度収支予算計画案の報告：長野繁敏  
 ・当期（予算）収入合計 / 4,327,200  
 ・当期（予算）支出合計 / 4,725,000 前期繰越金から / 397,800

● 第 3 号議案

社員移動状況の報告：田中仁一郎 正社員数 / 73 名 賛助会員数 / 6 機関それぞれ報告し、議場に承認を求めたところ、全会一致で承認された。 ・総会終了後、山岡和彦氏による（社）神奈川デザイン機構との交流計画 田中仁一郎氏による「授産活動活性化セミナー」に対するサデコの対応 葛谷裕美氏による「2008 年度サデコスクール」の開催計画について報告がなされた。

## 2008 年度 6 月総会、2 月総会

2008 年度 6 月総会 2008 年 6 月 14 日開催  
 「2007 年度事業概要報告 / 収支決算報告・監査報告」の審議  
 会場：さいたま市 市民活動サポートセンター  
 議長：千田正勝、司会：葛谷裕美

● 第 1 号議案

2007 年度事業概要案の報告：染谷珠樹

● 第 2 号議案

2007 年度収支決算案の報告：長野繁敏  
 ・当期（決算）収入合計 / ¥4,275,741  
 ・当期（決算）支出合計 / ¥4,676,650

監査報告：大塚高由

それぞれ報告し、議場に承認を求めたところ、監査意見「定款の変更」についてののみ、のちに監事 川崎晃義氏から意見を聴取し、必要と認められれば変更を進める旨確認し、全会一致で承認された。

● 第 3 号議案

社員移動状況報告：長野繁敏 正社員数 / 69 名 賛助会員数 / 5 機関出席者全員が確認した。その後、竹田良雄氏による「地域交流と会員の交流」案内 染谷珠樹氏による「SADECO & KDF 会員交流会」開催報告 葛谷裕美氏による「2008 年度サデコスクール」の開催計画について報告がなされた。 ・総会終了後、同場所で KDF（神奈川デザイン機構）の会員をお招きして「交流会」を開催した。



2008 年度 2 月総会 2009 年 2 月 23 日開催  
 「2009 年度事業計画 / 収支予算計画」の審議  
 会場：さいたま市 市民活動サポートセンター  
 議長：染谷珠樹、司会：千田正勝

● 第 1 号議案

2009 年度事業計画案の報告：赤井克重

● 第 2 号議案

2009 年度収支予算計画案の報告：長野繁敏  
 ・当期（予算）収入合計 / ¥4,862,200  
 ・当期（予算）支出合計 / ¥5,036,150  
 前期繰越金から / ¥173,950

それぞれ報告し、議場に承認を求めたところ、全会一致で承認された。

● 第 3 号議案

2009・2010 年度役員の選任報告：田端克雄  
 全正会員を候補として選挙を行った結果、下記の会員が役員候補となった。理事（10 名）赤井克重、和泉賢二、権田功、染谷珠樹、田端克雄、千田正勝、長野繁敏、林哲也、福井政弘、山岡和彦。監事（2 名）木村路子、竹田良雄  
 これを選任されたい旨 承認を求めたところ、全会一致で承認された。  
 ・総会終了後、同南ウイングで「会員親睦ティーパーティ」が開かれた。



スクール委員会レポート

葛谷 裕美

## 第21回サデコスクール「親子でつくる楽器教室」

平成19年7月28日(土)・29日(日) 埼玉伝統工芸会館にて、第21回サデコスクール「親子でつくる楽器教室」が行われました。参加者は、親子10組(子ども18人、大人13人)。

今年の製作楽器は、恒例のアルペンホルン、紙管タイコの他にウクレレ、竹琴、パンフルート、シャオリンなど種類がいろいろあり、子どもたちの個性あふれる楽しい作品が完成しました。作品完成後の演奏会も、意気揚々と音を奏でる子どもたちの表情が印象的でした。

今年度は、初めて独立行政法人国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金」の助成を受け、資金の面でも充実し、材料はもちろん講師の先生方もたくさんの方にお願いすることができ活動の内容も充実できたと思います。



スクール委員会レポート

葛谷 裕美

## 第22回サデコスクール「親子でつくる楽器教室」

平成20年7月26日(土)・27日(日) 埼玉伝統工芸会館にて、第22回サデコススクール「親子でつくる楽器教室」が行われました。参加者は、親子12組(子ども18人、大人13人)。製作楽器は、アルペンホルン、紙管タイコの他にツリーチャイムが人気でした。その他には、木琴、スリットドラム、サンザ、ウクレレなどもありました。リピーターが多く、昨年見ていた楽器を今年つくりたいと思って参加してくれた子もいました。

今年は、開校式の時に東京フィルの主席ト

ランペッター奏者、古田俊博氏とそのグループをお招きしてミニコンサートを実施しました。生演奏の迫力とすばらしさに子どもたちもビックリしながらとても喜んでいました。今年も「子どもゆめ基金」の助成を受けることができ、講師の充実をはかることができたように思います。



## 第1回授産活動活性化セミナー「授産施設 商品開発デザイン相談会」

主催 さいたま市  
 開催日時 2008年3月22日  
 開催場所 さいたま市障害者総合支援センター  
 受講者 さいたま市内 授産施設の指導員（先生方）

このセミナーは、さいたま市から依頼を受けた下記のSADECOメンバーによって展開・開催されました。

サデコ側プロジェクトメンバー

田中仁一郎、山岡和彦、長野繁敏、和泉賢二、竹田良雄、田積正敏、田端克雄、染谷珠樹、三浦功、黒岩立治、原正士（セミナーの内容）

・前半：「大宮太陽の家」の現地調査から始まり、そこでの商品「パウンドケーキ」を例題に取りながら、「売れる商品のデザイン開発」の考え方・進め方を映像を使って講話しました。「デザイン」という言葉の本来の意味合いから説き起こし、「売れる商品をつくるには」「売れる商品の条件」へとすすみ、「商品デザインの進め方」を具体的に、さまざまな資料や考察をまじえ、判りやすく解説しました。

なかでも、「時流を見落としてはいけない」、「作り手（施設）の現況を良く踏まえて」、無理のない「商品開発を志向すべき」と言うくだりは、参加施設の指導員の方々に大きく納得していただけたようです。このセミナーは、「商品のデザイン業務」を進めるに当たって、ややもすると、

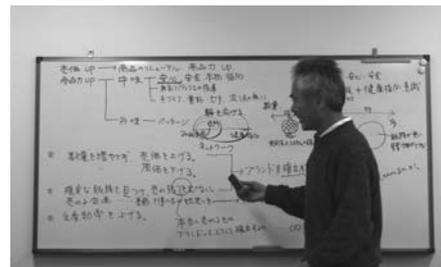
はぶかれ・省みられない「デザイン業務進捗の基本」を平易に判りやすく解説したもので、「もの造り」に関わる関係者の皆様に大いに参考になりました。

・後半：「大宮太陽の家」による商品「パウンドケーキ」を具体例として、開発していく手順を明らかにし、売上げ増大の可能性を追求し、パウンドケーキの新しい商品群を展開した。終わりに、提案されたそれぞれのパウンドケーキの試作・パッケージデザインから始まり店頭表示の具体例をも提示しました。

・最後に、開発デザインされた試作品を囲み意見交換がなされ、質疑応答が繰り返された。又、セミナーに参加された施設から、それぞれ自作の製品が持ち込まれ、「製品相談会」が自然発生的に行われ、SADECO

会員が適切に回答しました。

セミナー終了後、双方の参加者から「久しぶりに見る盛会」「始めて判ったデザイン」などのご意見をいただきました。このセミナーの実績は、次年度からのSADECOの地域振興事業に大きく貢献するものと思われました。



## 授産施設「グリーンフィンガーズ」製品支援

プロジェクトメンバー

GF：矢嶋修

司施設長、安田まさ子、田中李果

GFの利用者：五十嵐、後藤

SADECO：竹田良雄、田積正敏、田中仁一郎、山岡和彦、長野繁敏、和泉賢二

(2008・3・22) 平成19年度授産施設商品開発セミナーに「グリーンフィンガーズ」の安田さんが参加され、商品力の向上、売上増を図りたいと、アドバイザー派遣を申請。(9・20)さいたま市から要請を受け、SADECOメンバーが「GF」を訪問、矢嶋施設長から、施設の現状、商品に込める思

い、希望をヒヤリング。(2009・1・17)GFにてプロジェクトの目的(目標)について協議した。結果①品質にふさわしいパッケージをデザインし、みんなが誇れる商品にする②商品づくりにこめた施設の先生やみんなの思いを、お客様や社会に伝える③商品力を向上して売上増を図り賃金をアッ

プする。とした。目標に沿ってアドバイザーの内容は①シンボルマークの作成②シール・パッケージデザインの作成③パウンドケーキ商品構成の検討(サイズ、形状、新容器の提案、原材料の検討)。とした。(2・21)シンボルマーク・パッケージの試作品を持参し協議した。(3・7)GFからの希望をふまえてデザインの修正を行った。またお客様、社会へのメッセージも考案した。(3・14)さいたま市障害者総合支援センターにて「仲間の思いを包むプロジェクト」と名づけ、経緯とその成果(改良された新商品、シンボルマーク、新パッケージ、メッセージ)を披露する報告会を行った。



情報・交流委員会レポート

千田 正勝

## 第1回地域交流会と会員親睦会 [秋の秩父路バスツアー]

SADECO 会員の親睦イベントとして、11月9日に「秩父路バスツアー」を開催致しました。

今回は18名が集まり、バスの中で早くから酒盛りが始まる楽しい雰囲気の中、一路秩父へ向かいました。

最初にライン下りで有名な長瀨に向かい、立派な岩壘と雰囲気ある土産屋を散策。自然豊かな彩の国を改めて実感しました。

次に秩父夜祭で有名な秩父神社に移動。日光東照宮の「見ざる・言わざる・聞かざる」に対し、秩父神社には「よく見て・よく聞いて・よく話す」というお元氣三猿がいる事を初めて知りました。

昼食は秩父農園ホテルでのバイキング。ここで酒の摂取量が更に増え、皆さん益々絶好調となりました。

午後からは秩父ミュージックパークに行きました。広い敷地内には立派な音楽堂や展望すべり台等がありましたが、何と言っても紅葉真っ盛りの銀杏並木と、かわいい花を咲かせていた冬桜が印象的でした。

最後は、今回のバスツアーの最大の山場と



も言える、秩父錦「酒づくりの森」に行きました。

酒蔵資料館を見学し、お酒の試酒までさせて頂き、すっかりご機嫌な状態で帰途に着くのですが、帰りのバスの中でも酒盛りは続き、大盛り上がりの中、大宮駅に到着し、解散となりました。

埼玉を知り、元気な SADECO を再認識出来た、とても良いイベントでした。

今後もこの様なイベントを定期的に行ない、多くの方達との親睦を深められたらと思います。



企画を進めて頂いた竹田さん、ツアーリスト会社の森山さん、今回は素晴らしいイベントにして頂き、ありがとうございました。

## (社)かながわデザイン機構 (KDF)との交流会を開催！

2008年6月14日さいたま市複合公共施設 Comonale (コムナーレ) 内のさいたま市民活動センター(浦和区)において、社団法人かながわデザイン機構(KDF Kanagawa Design Forum)との第1回の交流会を開催しました。

参加者は、かながわデザイン機構が10名、埼玉デザイン協議会(SADECO)が14名でした。

社団法人かながわデザイン機構は、1996年4月に神奈川県でのデザイン振興を目的に、公益法人として創設。

委員会組織として「教育支援委員会」「エコ委員会(ゼロプロジェクト)」「事業企画委員会」「デザイン相談対応委員会」「広報委員会」「会員交流委員会」があり、各種活動はワーキンググループが設置されることで活動が行われています。

ワーキンググループ(WG)には「まち調査WG」「伝統工芸WG」「かながわブランディングWG」「WEB関連WG」「ユニバーサルWG」「公益法人化検討WG」「3D&キャ

ラWG」「さがみはら産業支援WG」があります。

このように、SADECOと共通のテーマもありますがKDF独自のユニークなテーマもありお互いの事業内容(デザイン支援、教育、福祉等)、予算、会員獲得、今後の活動等について熱い議論を交わすことができ、双方に良い刺激を得ることができたと思います。

また、交流会の前に、大宮ソニックシティにありましたSS31(SADECO SPACE 31)の

見学も合わせて実施し、SADECOの福祉活動の現場を視察していただきました。

■かながわデザイン機構  
ホームページ：<http://www.kdf.or.jp/>



## 魅惑の川越探訪！かながわデザイン機構(KDF)との第2弾交流会の開催

かながわデザイン機構(KDF)会員交流委員会が、地域ブランドをテーマに「川越」を視察する予定になっていました。

そこで6月の交流が縁で、SADECOが見学ツアーの企画とさらなる交流を深めるためにKDF合同の企画ツアーとして2008年9月27日に、「川越探訪」を計画することにしました。

プランは地元川越で建築事務所を主宰している中山秀明建築研究室 中山秀明氏にお願いし地元ならではのコースを準備しKDFの皆様をお迎えしました。

参加者はKDF9名、SADECO9名です。

川越探訪は、本川越駅前をスタートに午前中は喜多院を見学。国指定重要文化財の仙波東照宮、客殿(家光公誕生の間・湯殿・廁)、書院(春日局化粧の間)や多宝塔(県指定

有形文化財)、日本三大羅漢の一つに数えられる五百羅漢等を見てまわりました。その後、関東大震災後に建てられ看板建築(国登録有形文化財)のたたずまいを残している、日本そば「百丈」にて昼食。午後は、本丸御殿(県指定)や市立博物館を見学、その後は自由見学とし江戸の面影を色濃く残している「蔵造りの町並み(重要伝統的建造物群保存地区)」「時の鐘」や「菓子屋横丁」「川越まつり会館」を三々五々見て歩きました。夕食も、国登録有形文化財で昭和初期の洋館であるモダン亭・太陽軒にて地元川越の地ビールと美味しい料理を味わいながら交流を深めることができ、2009年NHK、朝の連続ドラマ「つばさ」の舞台となっている注目スポット川越を満喫した1日でした。

2009年9月には、KDFさんに招待していただき、開港150周年でわく横浜を視察する予定になっています。



## 事務局 SKIP シティ 移転

・2008年8月30日、臨時総会開催 定款第2条の変更(事務所住所の変更)議決に伴い、9月6日(土)事務局を浦和市別所から川口市上青木に移転しました。

・移転先 SKIPシティ内 SAITEC(埼玉県産業技術総合センター)は、高度な研究開発・技術支援機能を持ち中小企業の高度化、新産業の創出を支援するとともに、企業経営者、研究者などの人的交流の活性化

など、中小企業の技術に関するニーズに対し総合的な支援を行う機関です。

・SADECO「デザイン振興委員会」の事業は県内地場産業の産品と販売に関する企画・開発に対する支援と新規産品商材作り。県内中小企業の商品と販売に関する企画・開発力の強化支援と人材作り。

上記活動を通じた異業種間のネットワーク作りであり、「売れるものづくり」をキー

ワードに、デザインすることを通して、県内の産業を支援し、産業がより力強く活動・運営できることを目標としています。

・SAITECに事務局を移転させたことは、SAITECにより太い情報交流のパイプが出来上がることです。

必ず「デザイン振興委員会」の事業拡大、ひいては地域の産業振興に寄与するものとなることでしょう。



正面玄関

中庭



外観

## 2009年度、2010年度新役員

2008年11月10日、「2009・2010年度の役員」選挙のための「選挙管理委員会」を立ち上げました。正会員全員を候補として

選挙を行った結果、下の会員が役員候補となり、2008年度2月総会で全会一致で承認されました。



理事長  
林 哲也



理事・事務局長  
長野 繁敏



理事・副事務局長  
SS31・福祉委員会  
和泉 賢二



理事  
デザイン振興委員会  
権田 功



理事  
情報・交流委員会  
福井 政弘



理事  
デザイン振興委員会  
田端 克雄



理事  
スクール委員会  
染谷 珠樹



理事  
SS31・福祉委員会  
赤井 克重



理事  
情報・交流委員会  
千田 正勝



理事  
情報・交流委員会  
山岡 和彦



監事  
木村 路子



監事  
SS31・福祉委員会  
竹田 良雄

## 事務局から

・第23回サデコスクール「親子でつくる楽器教室」は、7月25・26日に開催され、盛会のうちに終了しました。このスクールの参加者から「サデコの運営資金として」カンパをいただきました。詳細は、下記の通りです。

SADECO 理事から：20,540 SADECO 会員から：9,720 一般参加者から：9,820 合計：¥40,080 でした。ありがとうございました。

・TEPCO SONIC のお世話で長年開店してきました「SS31」は、種々の理由で今年2月末日閉店しました。新たに SAITEC 1階「市民コミュニティールーム」の1部スペースをお借りして、新店舗を開店すべく目下鋭意行動中です。10月下旬の開店を予定しています。ご期待下さい。

### 地区会「大宮地区」

大宮地区では、5月の休日に嵐山町の農家の竹林で筍狩りを行ない、川原でバーベキューをやる、毎年好例の「筍狩り&バーベキュー大会」があります。毎年用意される牛肉が最高でその肉が食べたくて参加する人もいるくらいです。例年多数の参加で地区会のまとまりの元となっています。

工場見学は、地域に存在する特徴ある工場・工房を訪ね、地域を再確認するという考えを軸に例年実施しています。

秩父の源作ワインでは創業者の苦勞話などを聞き、スタンドグラスのバロックでは色ガラスの美しさ、独自の技術やデザインの説明を受け、ブリヂストンサイクルでは自転車ならではの機械化と手作業のバランスなど大変興味深い話を聞くことが出来ました。

大宮地区リーダー 星野 勇



筍狩り



スタンドグラス「バロック」



ブリヂストンサイクル



源作ワイン

### あしがき

今年の夏は、総選挙の猛暑でおわり、日暮の鳴く9月になってしまいました。皆さんお元気でいらっしゃいますか。日本の亜熱帯化が言われたり、集中豪雨があったりと、どうもオカシイ。地球をおかしくしているのは、どうも人類の仕業のようです。◆民主党が政権を担うことになりました。このジャーナルが出る頃には新しい政治が動き始めていることでしょう。新しい政治に期待したいです。

◆サデコの活動は、着々と進んでいます。2007年から2008年までの活動状況をまとめました。活動を実践された方、会員として年会費を納めバックアップされておられる方々、サデコ会員の総力で進めた活動の成果です。一読して頂ければ幸いです。次号でも良い報告が出来ますように。今年2009年も、みんなで頑張りましょう。最後に、誤字脱字等ありましたらご容赦ください。

情報交流委員会 福井政弘

#### ■賛助会員

中央電子工業株式会社

株式会社 中賀堂

株式会社 デサン <http://www.dessin.co.jp/>

日本精機株式会社 <http://www.nippon-seiki.co.jp/>

ギャラリーコピルコ # 300

SADECO JOURNAL33 発行：社団法人埼玉デザイン協議会

〒333-0844 埼玉県川口市上青木 3-12-18

埼玉県産業技術総合センター 706-B 号室

TEL. 048-261-2430 FAX. 048-261-2438 E-mail [info@sadeco1.com](mailto:info@sadeco1.com)

発行日 2009年10月1日

編集スタッフ：情報交流委員会 福井政弘、山岡和彦、和泉賢二  
竹田良雄